

平成29年度ホタテガイ採苗情報（第2報）

平成29年4月24日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



調査地点で稚貝の付着を確認。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は8.3℃で、前回調査に引き続きやや高めです。透明度は6mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型ラーバ及び大型のホタテガイラーバが出現していますが、少数であり、採苗器投入時期にはなっていません。
- 試験採苗器へは8個体のホタテガイラーバが付着しました。
- 他地区の調査地点でもホタテガイラーバが確認されています。

< 陸奥湾の状況（4月20日発行青森県ホタテガイ採苗速報） >
 西湾では採苗器の投入を継続、東湾でも投入を開始を呼びかけ。

< 宮城県の状況（4月20日発行ホタテガイ採苗通報） >
 ホタテガイ母貝の産卵は進んでいるが、採苗時期にはなっていない。

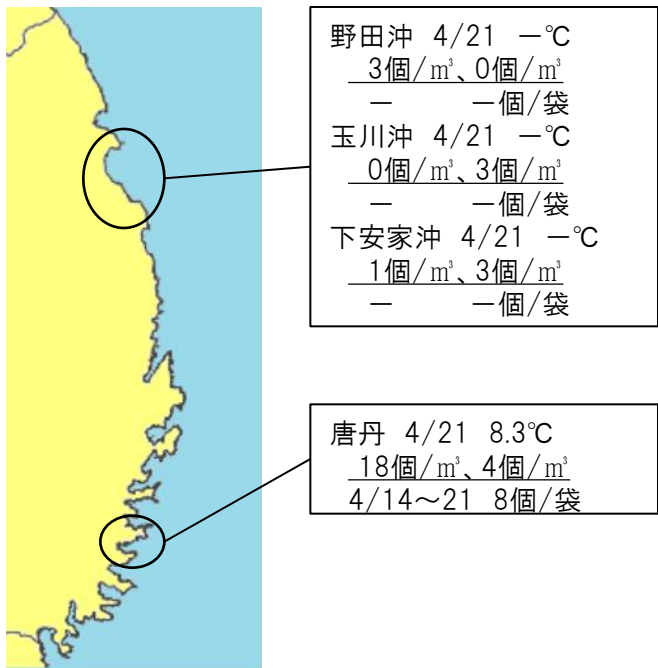


図1 各定点の調査結果
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

調査点 調査日 水深10m層水溫
 ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

次報は、4月28日に発行する予定です。

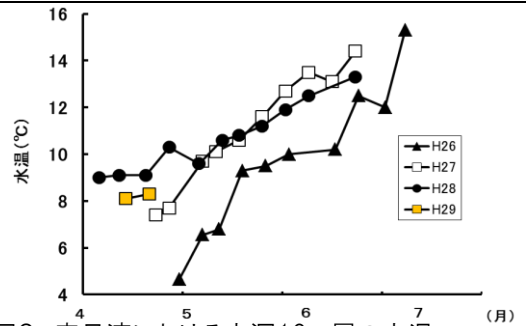


図2 唐丹湾における水深10m層の水溫

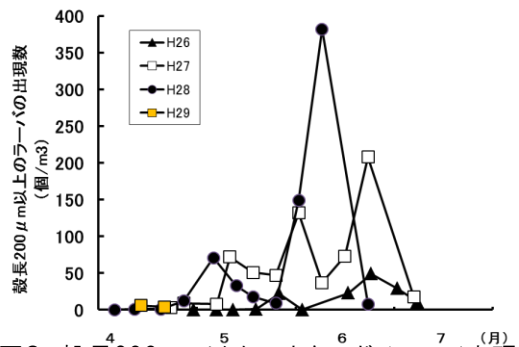


図3 殻長200μm以上のホタテガイラーバ出現数

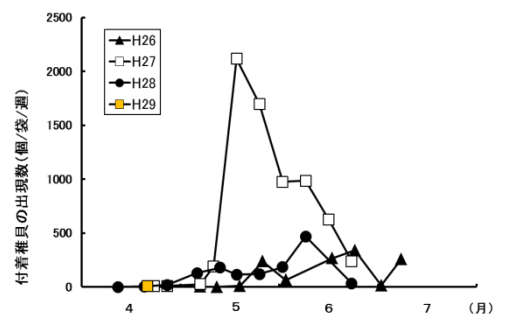


図4 1週間当たり付着稚貝数(個/袋)